

事業所名

にこにこおひさま（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2024 年

7 月

1 日

|           |   |   |   |
|-----------|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | 子どもたち一人一人持っている可能性を大切に、それぞれの個性を育みながら、地域社会の中でその子らしく生活が送れる事を目指しています。                     |   |   |
| 支援方針      | 小集団グループを作り、遊びを通して自分の思いを相手に伝える力や相手の思いを受け止める力をつけ、友だちを過ごす楽しさを知り、人とつながりながら生活していけるよう支援します。 |   |   |
| 営業時間      | 9 時 00 分から 16 時 30 分まで  | 送迎実施の有無   | あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span> |
| 支 援 内 容   |   |   |   |
| 本人支援      | 健康・生活   | 【生きていく力をつけよう】<br>・スケジュールで1日の流れを知らせることで見通しを持って活動に参加できるようにしていきます。次の活動に期待を持ち、主体的に動けるようにしていきます。<br>・基本的な生活動作をしていく中で生活に必要な力を獲得していきます。  |   |
|           | 運動・感覚   | 【基礎的な動作を身につけ、健康な身体を作ろう】<br>・サーキット、大型マットを使った粗大運動、揺れ遊びなどを通して基礎体力を養います。その中で身体動作の改善や筋力の強化、維持を図り体幹を整え使いやすい体を作っていきます。<br>・感触遊び（粘土、砂、スライム等）やゲームを通して視覚、聴覚、触覚など感覚を養います。                                  |   |
|           | 認知・行動   | 【豊かな感性を持ち、自己表現する喜びを味わおう】<br>・ブロックなど立体の造形物を使った創作活動を通してイメージ力を高めています。また、絵本の取り組みを通して感性豊かな心を育みます。<br>・ボードゲームやカードゲームなどの遊びを通して自分で判断し考える力を築いていきます。<br>・本人の困り事を一緒に整理し、考え方や行動に働きかけることで自己理解や問題解決を目指していきます。 |   |
|           | 言語<br>コミュニケーション   | 【自分の思いを表現しよう】<br>・子どもの内面をくみ取り、その子に合った表現方法で相手に思いを伝えられるようにしていきます。その中で、人とやりとりする楽しさや誰かに伝えたい気持ちを高めていきます。   |   |
|           | 人間関係<br>社会性   | 【自分も友だちも大好きになり人とつながりながら生活しよう】<br>・ごっこ遊び、集団遊び、友だちとの話し合い等を通じて、友だちと一緒に活動する面白さや友だちとの関わり方を知り、社会生活や集団で必要とされる年齢に見合ったスキルが身につくようにしていきます。   |   |
| 家族支援      | 定期的な面談日を設ける他、家庭や幼稚園、保育園等での困り事がある場合は随時面談を行っています。また、家庭でできる支援方法や遊びなどを提供していきます。           | 移行支援  | ・移行先の相談<br>・必要に応じて通園する施設に訪問、電話などし、情報共有や相談等を行います。                                      |
| 地域支援・地域連携 | 幼稚園、保育所などの教育機関の情報共有、自立支援協議会子ども部会への参加情報共有、保健師など行政も含めた他機関との連携を行います。                     | 職員の質の向上   | ・救急救命講習<br>・外部研修会<br>・療育終了後、情報や支援方法の共有。療育内容の見直し<br>・虐待防止、身体拘束適正化研修<br>・内部研修           |
| 主な行事等     | ・クッキング<br>・お祭りごっこ<br>・季節の行事   |   |   |